

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-136	16-046	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
<p>ALDH2 polymorphism is associated with fasting blood glucose through alcohol consumption in Japanese men.</p> <p>日本人男性においては、ALDH2 の多型はアルコール消費を通じて空腹時血糖と関連している</p>		
<b>執筆者</b>		
<p>Yin G, Naito M, Wakai K, Morita E, Kawai S, Hamajima N, Suzuki S, Kita Y, Takezaki T, Tanaka K, Morita M, Uemura H, Ozaki E, Hosono S, Mikami H, Kubo M, Tanaka H; Japan Multi-institutional Collaborative Cohort (J-MICC) Study Group.</p>		
<b>掲載誌</b>		
Nagoya J Med Sci. 2016 May;78(2):183-93.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
アルコール消費、2型糖尿病、疫学研究		27303105
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b> 本研究では、空腹時血糖値と ADH1B および ALDH2 多型との関連、および日本人におけるアルコール消費と空腹時血糖値との関連性を調査した。</p> <p><b>方法：</b> 5-69 歳の男性 907 人と女性 912 人を対象とし、横断研究で調査した。被験者は、日本の 6 つの地域の he Japan Multi-institutional Collaborative Cohort study (J-MICC ジェイミック スタディ日本多施設共同コホート研究)から抽出した。ADH1B および ALDH2 多型は、Invader Assays により遺伝子型を決定した。</p> <p><b>結果：</b> ALDH2 Glu504Lys 遺伝子型は、男性における空腹時血糖の差異と関連していた (P = 0.04)。ALDH2 504 Lys アレル (Ptrend = 0.02) を有する男性では、平均空腹時グルコースレベルはアルコール消費と正の相関があったが、ALDH2 504Glu / Glu 遺伝子型 (Ptrend = 0.45) では有意な差が認められなかった (P = 0.38)。男性においては非消費者と比較して、アルコール消費は、空腹時血糖値の上昇と関連していた (Ptrend = 0.002)。ADH1B Arg48His 多型は、全体的にまたはアルコール消費の層別化後にも平均空腹時グルコースレベルと関連していなかった。これらの知見は、ALDH2 多型が、日本人男性のアルコール消費による空腹時血糖の差異と関連していることを示唆していた。</p> <p><b>結論：</b> アルコール消費と空腹時血糖に関連している ALDH2 多型の相互作用は、さらに調査する必要があることが示唆された。</p>		